

空知信用金庫・第139回地域企業景気動向調査

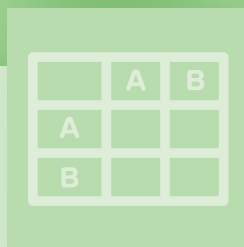
景況レポート

2021.4

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和3年1月～3月の景気の現状と令和3年4月～6月の見通しを調査したものです。

令和3年4月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話(0126)22-1171



第139回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和3年1月～令和3年3月期（実績） 令和3年4月～令和3年6月期（予想）
令和3年2月22日～3月5日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものの。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

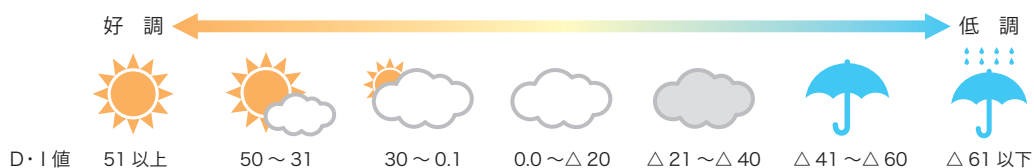
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製造業	24	23	96
卸売業	14	14	100
小売業	57	55	96
サービス業	32	30	94
建設業	43	43	100
不動産業	7	7	100
運輸業	17	17	100
農業	28	27	96
計	222	216	97

6. 天気図の見方

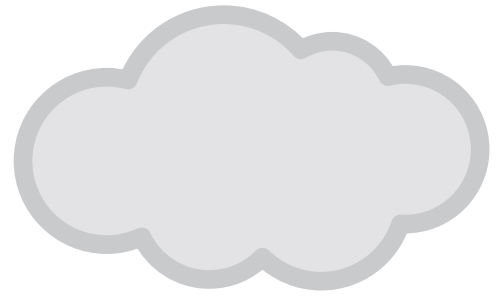
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「新型コロナウイルス感染拡大長期化の影響と新常态（ニューノーマル）への対応について」

総 合



概 況

コロナ禍からの復調も依然厳しい状況

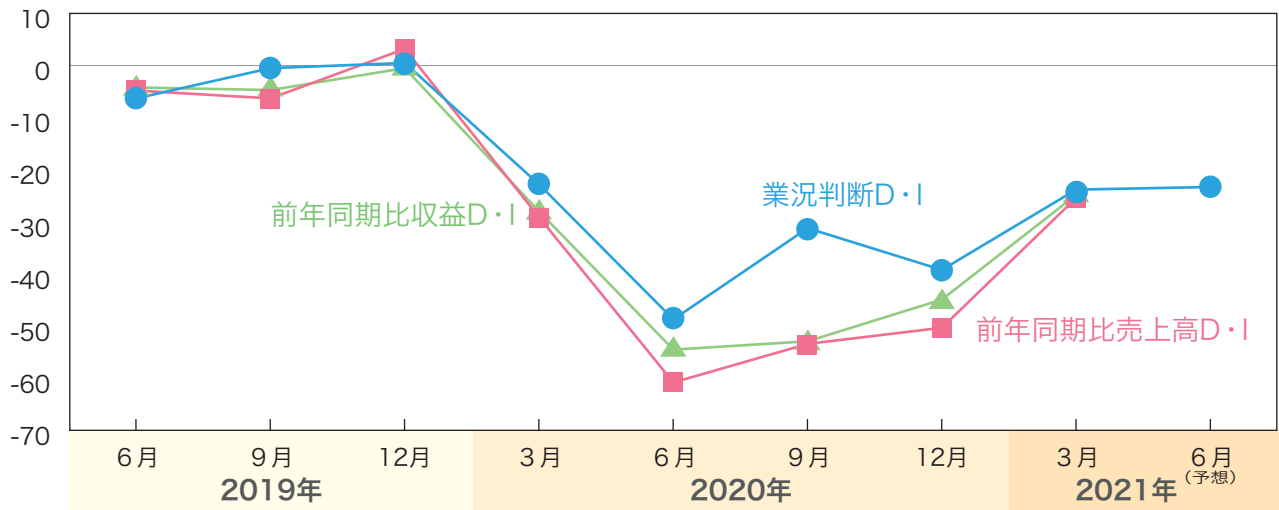
今期の業況判断指数（D・I値）は、△23.8と前期（10月～12月）に比べ15.4ポイント改善され、歯止めがかかったと思われます。下落は底をうちやや回復しました。建設業で大きく上振れとなり、卸売・小売・サービス業でも小幅回復しましたが、全体では前期から続く低水準から脱しきれず、比較的低調な状況が継続しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△22.8	△39.2	△23.8	△23.3
売上高D・I	△29.1	△50.3	△25.4	—
収益D・I	△28.0	△44.9	△24.8	—

来期の見通しについて

製造・卸売・サービス・運輸業でやや改善、小売り・建設業で悪化を見通しており、全体ではほぼ現状維持を見込むも、依然深刻な状況が続く見通しです。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	4.3	△13.1	△4.3	0.0
卸 売	7.2	0.0	—	7.1
小 売	5.4	5.5	5.5	1.9
サービス	6.7	6.7	△3.4	△6.7
建 設	△11.6	7.0	9.3	4.7
不動産	△14.3	—	△14.3	—
運 輸	11.8	△11.8	5.9	0.0
農 業	7.4	0.0	△11.1	3.7

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	8.7	△8.7	26.1	30.5
卸 売	21.4	0.0	—	7.1
小 売	10.9	△1.9	5.5	7.3
サービス	—	10.0	0.0	△3.3
建 設	16.3	11.7	9.3	2.3
不動産	—	△14.3	—	—
運 輸	35.3	0.0	58.8	23.5
農 業	11.1	14.8	3.7	7.4

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△34.8	△30.4	△43.5	△43.5
卸 売	△28.6	△21.4	△21.4	△21.4
小 売	△32.7	△16.4	△18.2	△18.2
サービス	△33.3	△33.3	△36.7	△33.3
建 設	△27.9	△37.2	△41.9	△39.5
不動産	△28.6	0.0	△14.3	-
運 輸	△70.6	△52.9	△70.6	△64.7
農 業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△26.1	△4.3	0.0	0.0
卸 売	0.0	△28.6	△14.3	△7.1
小 売	△3.7	△21.8	△5.5	△1.9
サービス	△10.0	△16.7	△13.4	△16.7
建 設	△7.0	△7.0	16.3	2.3
不動産	△14.3	-	-	-
運 輸	△5.9	△11.7	11.7	△11.8
農 業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

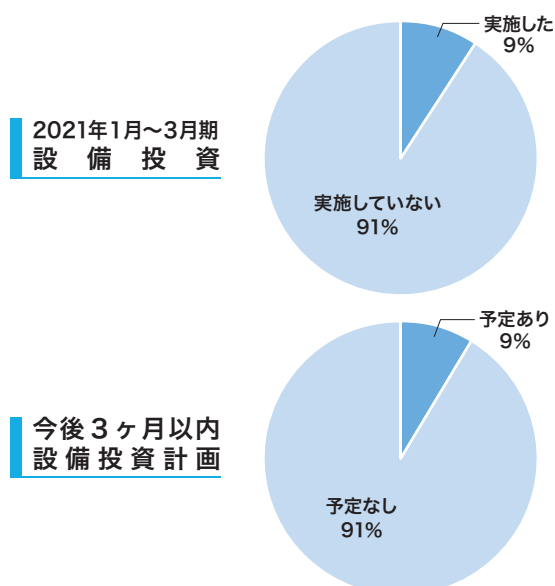
(%)

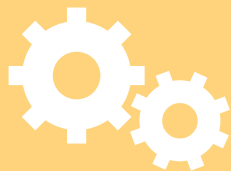
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 な し
製 造	26.1	8.7	13.0	56.5	8.7	21.8
卸 売	28.6	7.1	42.9	50.0	-	7.1
小 売	16.4	7.3	5.5	61.8	9.1	23.6
サービス	20.0	10.3	13.3	73.3	-	13.4
建 設	20.9	11.6	18.6	74.4	-	7.0
不動産	28.6	14.3	-	85.7	-	14.3
運 輸	23.5	17.6	11.8	64.7	11.8	11.7

○設備投資の動き

(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	17.4	17.4	13.0	21.7
卸 売	7.1	7.4	7.1	14.3
小 売	9.1	10.9	7.3	5.5
サービス	13.3	20.0	13.3	6.7
建 設	4.7	4.7	7.0	4.7
不動産	-	-	-	-
運 輸	35.3	23.5	11.8	11.8
農 業	14.8	11.1	11.1	7.4





製造業



概況

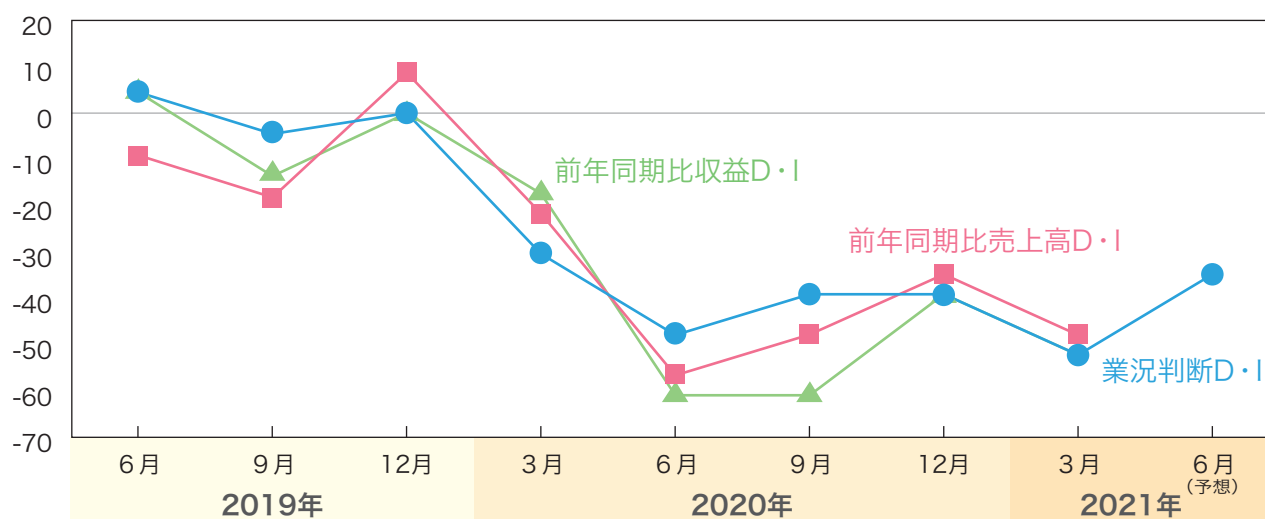
今期の業況判断指数（D・I値）は、△52.2と前期（10月～12月）に比べ、△13.1ポイントとなり更に落込みしました。出版印刷・食料品製造業で不振が続く一方で、窯業・土石製品製造業では、好調を維持しています。

来期の見通しについて

その他及び窯業・土石製品製造業では、回復を見込んでいますが、他の業種は維持又はやや改善を見込む程度で大きな持直しは期待できず、足踏み状態が続く見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△30.4	△39.1	△52.2	△34.8
売上高D・I	△21.7	△34.8	△47.9	—
収益D・I	△17.4	△39.1	△52.2	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナで大変な1年だった。製造用の部品が調達できないケースが1番困った。
- ・人手不足。原材料高騰等不安あるものの、新型コロナによる減収はさほど大きくない。
- ・売上回復の見込みは立たない状況。卸先によっては、回復しつつある先もあるみたいだが、全体でいえばまだまだの様子である。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 52.2%	売上の停滞・減少 56.5%
第2位	原材料高 47.8%	原材料高 34.8%
第3位	人手不足 39.1%	工場・機械等の狭小・老朽化 30.4%

(複数回答)

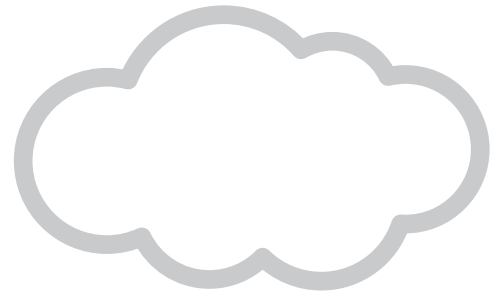
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 65.2%	販路を広げる 60.9%
第2位	経費を節減する 52.2%	経費を節減する 47.8%
第3位	人材を確保する 43.5%	人材を確保する 26.1%

(複数回答)



卸売業



概況

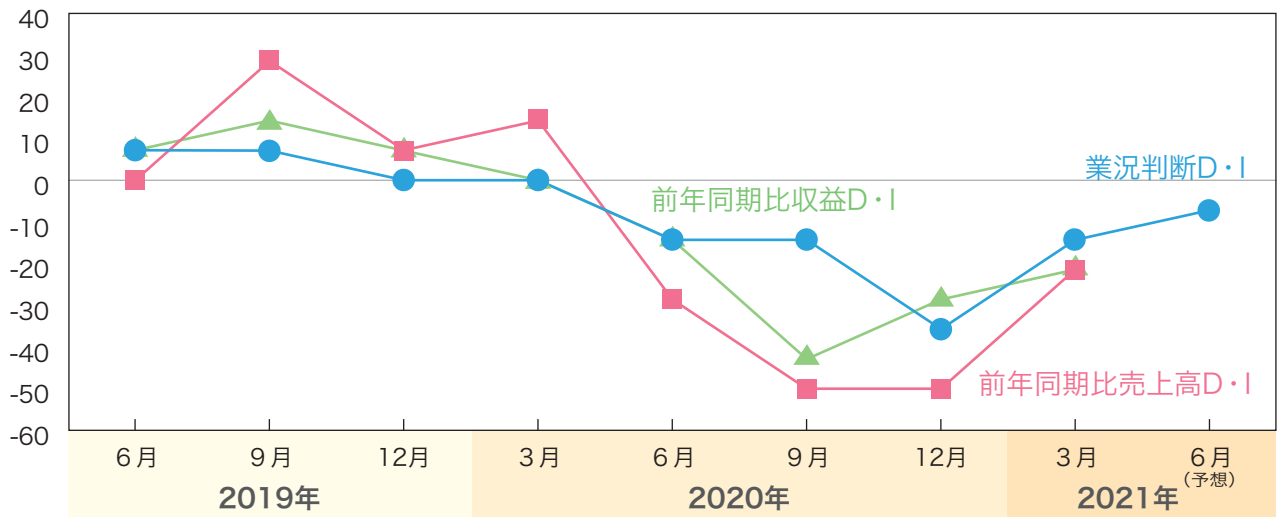
今期の業況判断指数（D・I値）は、△14.3と前期（10月～12月）に比べ21.4ポイント上昇し、回復の兆しを示していますが、冴えない業況が継続しています。食料・飲料卸売業で落込みましたが、建築材料・その他卸売業で好転しました。

来期の見通しについて

その他卸売業で悪化見通しですが、建築材料卸売業で回復を見込む等、やや持直しの見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	0.0	△35.7	△14.3	△7.2
売上高D・I	14.3	△50.0	△21.4	—
収益D・I	0.0	△28.6	△21.4	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・今期、新型コロナの影響大きく、売上等減少。
- ・テレワーク補助金を活用した。
- ・飲食業界の状況がますます悪化しており、更に厳しい1年となりそうと感じている。
- ・近年は天候が難しいことが多く、苦労している。販売面でもイベント出展が期待できないので、通常販売を強化。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 57.1%	売上の停滞・減少 50.0%
第2位	同業者間の競争の激化 35.7%	人手不足 28.6%
第3位	人手不足 28.6%	同業者間の競争の激化 21.4%

(複数回答)

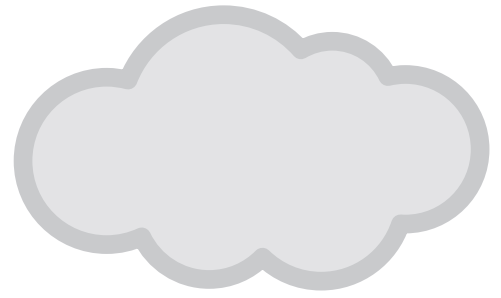
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 71.4%	販路を広げる 64.3%
第2位	人材を確保する 35.7%	人材を確保する 35.7%
第3位	情報力を強化する 21.4%	情報力を強化する 21.4%

(複数回答)



小売業



概況

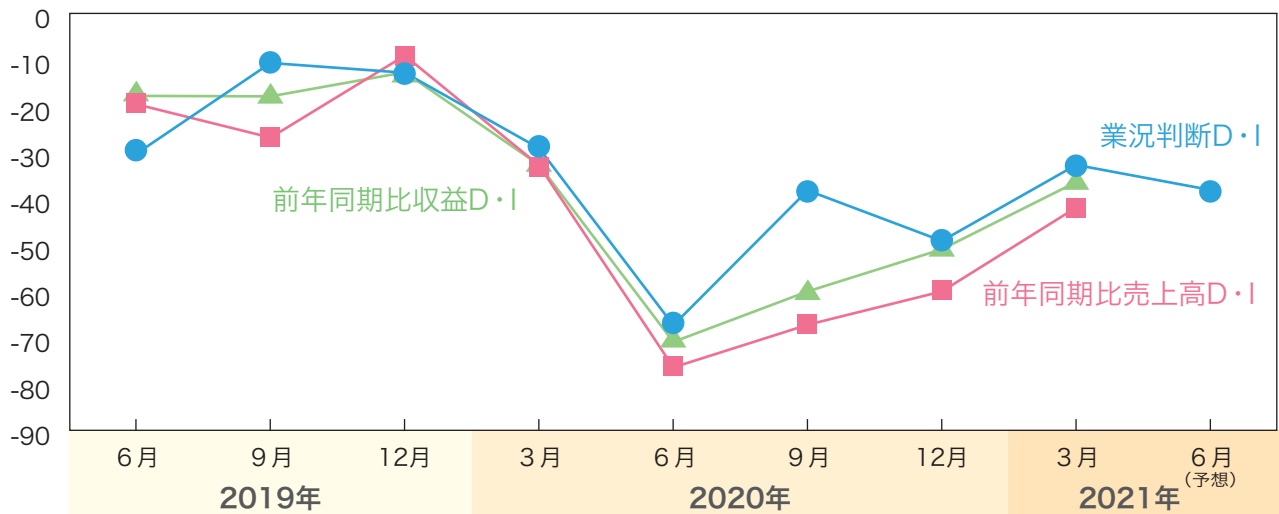
今期の業況判断指数（D・I値）は、△32.7と前期（10月～12月）から16.4ポイント改善したものの、低調な業況が続きました。小売業全般で厳しい状況が続き、スポーツ関連小売業でコロナ禍での特需により好転した事業先もありますが、限定的で全体の売上は底ばい状況となっています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△29.1	△49.1	△32.7	△38.1
売上高D・I	△32.8	△60.0	△41.9	—
収益D・I	△32.7	△50.9	△36.4	—

来期の見通しについて

コロナの影響が継続され厳しい状況に変わりなく、下降に転じる見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナ禍によるアウトドア需要の高まりから売上伸長している。
- ・原油価格が上昇してきているので注視している。景気は悪い実感ある。人が動かないので物が動かない。
- ・元々地元商店街の活気がなくなっているところにコロナ禍なので、酷い状況。Goto商店街も中止となり、行政のサポートが必要。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 商圏人口の減少 50.9%	売上の停滞・減少 61.8%
第2位	人手不足 大型店との競争激化 27.3%	商圏人口の減少 50.9%
第3位	商店街の集客力の低下 18.2%	大型店との競争激化 同業者間の競争の激化 18.2%

(複数回答)

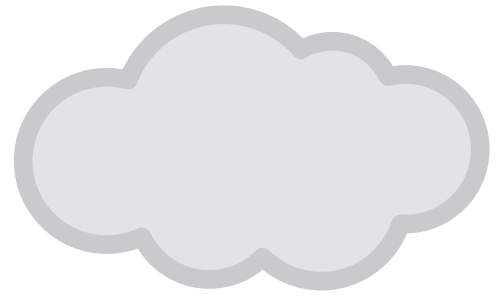
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 61.8%	経費を節減する 61.8%
第2位	品揃えを改善する 32.7%	品揃えを改善する 27.3%
第3位	人材を確保する 29.1%	人材を確保する 25.5%

(複数回答)



サービス業



概況

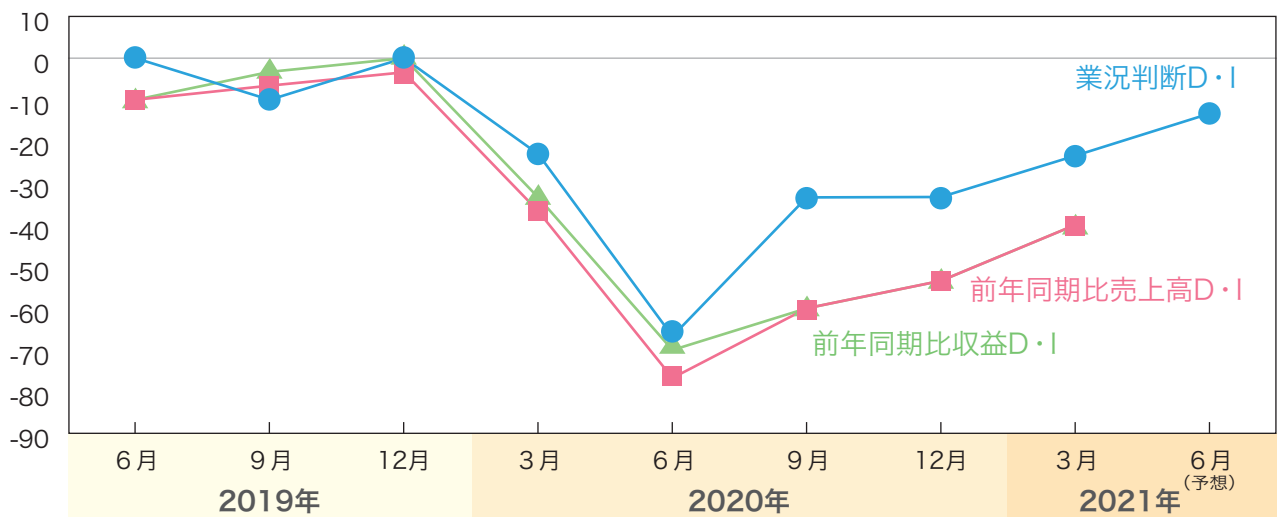
今期の業況判断指数（D・I値）は、△23.4と前期（10月～12月）に比べ9.9ポイント改善され、下げ止まりしたものの低調な業況が続いています。物品賃貸業で、雪害による重機の需要が高まり大きく好転し、自動車整備業も動きは鈍いもののやや持ち直ししています。

来期の見通しについて

全体では、今期比+10.1と小幅改善の見込みです。旅館・娯楽業では事業先全てが下降見込ですが、自動車整備業は新車販売による好転の見通しです。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△23.0	△33.3	△23.4	△13.3
売上高D・I	△36.7	△53.4	△40.0	—
収益D・I	△33.4	△53.4	△40.0	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・IT活用し、利便性・新サービス展開の向上を図る。
- ・例年であれば、3～4月は車両販売が増えるが、今年はどうなっていくか不安がある。
- ・IT人材の重要性は認識しているが、優先度は低い。
- ・豪雪の影響で除雪車両の修理受注等、スタンドの売上が大幅に増加した。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商圏人口の減少 46.7%	売上の停滞・減少 53.3%
第2位	売上の停滞・減少 43.3%	商圏人口の減少 40.0%
第3位	同業者間の競争の激化 36.7%	人手不足 36.7%

(複数回答)

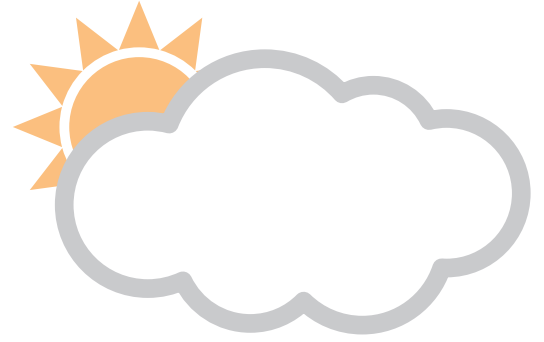
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 販路を広げる 50.0%	販路を広げる 56.7%
第2位	人材を確保する 43.3%	経費を節減する 50.0%
第3位	技術力を強化する 23.3%	人材を確保する 30.0%

(複数回答)



建設業



概況

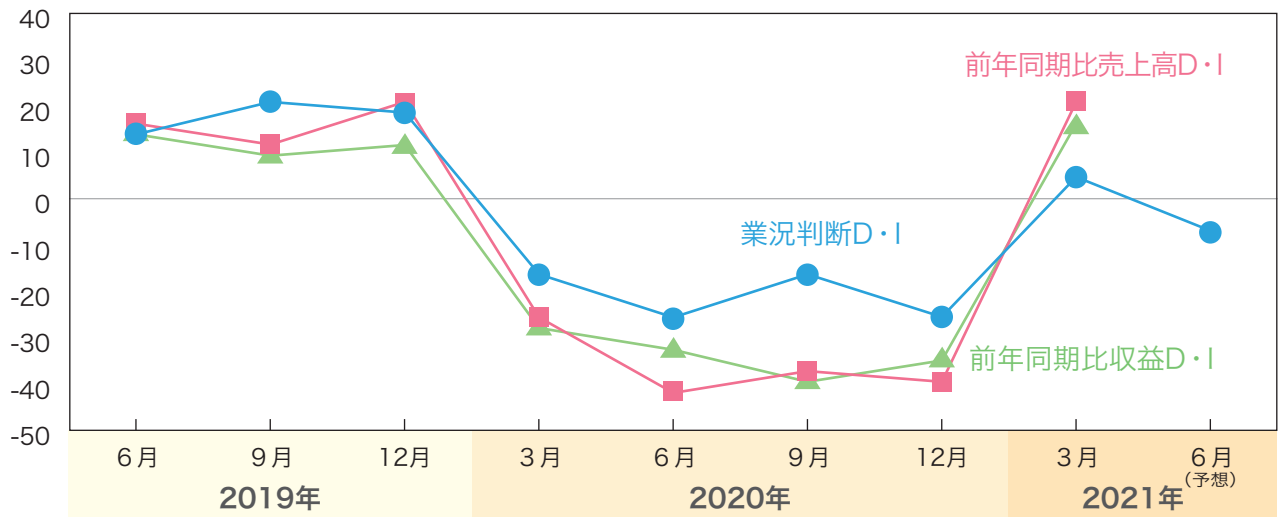
今期の業況判断指数（D・I値）は、4.7と前期（10月～12月）から大きく好転しました。コロナの影響が少なく、堅調な官需・民需および雪害特需等によるものと思われます。特に総合工事業で好転し、全体の結果に反映されました。主要指標（売上高D・I 収益D・I）も連動して、5期ぶりに水面上へ上昇しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△16.3	△25.5	4.7	△6.9
売上高D・I	△25.6	△39.5	20.9	—
収益D・I	△27.9	△34.9	16.2	—

来期の見通しについて

総合および設備工事業においては停滞、板金加工業で下降の見込みがあり、全体ではやや悪化する見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・新型コロナウイルスの影響も落ち着き、例年並みに推移している。
- ・雪害による受注を確保し、春先は多忙になる予想。
- ・記録的な豪雪により、除排雪業務の受注増加。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 60.5%	人手不足 46.5%
第2位	同業者間の競争の激化 30.2%	同業者間の競争の激化 37.2%
第3位	売上の停滞・減少 23.3%	売上の停滞・減少 23.3%

(複数回答)

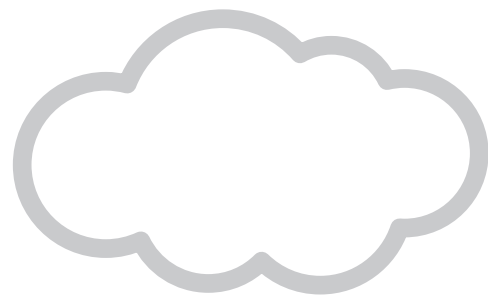
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人材を確保する 53.5%	人材を確保する 44.2%
第2位	経費を節減する 39.5%	経費を節減する 41.9%
第3位	技術力を強化する 34.9%	販路を広げる 37.2%

(複数回答)



不動産業



概況

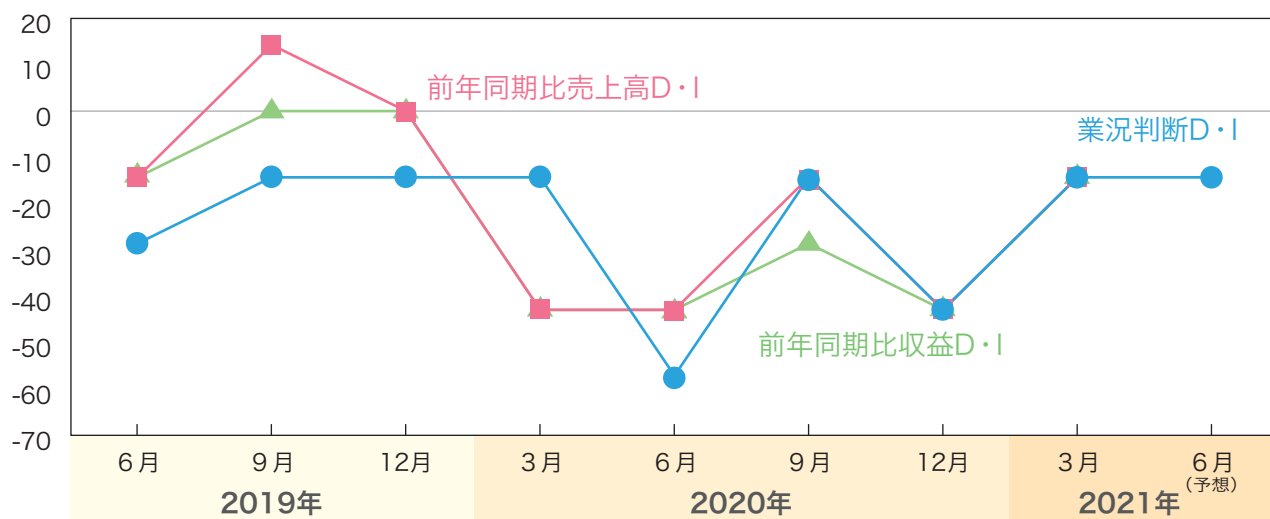
今期の業況判断指数（D・I値）は、△14.3と前期（10月～12月）からは28.6ポイント好転し、回復の兆しはうかがえるものの冴えない業況でした。全体では、コロナの影響により低迷しましたが、賃貸業でコロナ特需によりD・I値を押し上げました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	△42.9	△14.3	△14.3
売上高D・I	△42.9	△42.9	△14.3	—
収益D・I	△42.9	△42.9	△14.3	—

来期の見通しについて

転勤・就職などの人の異動に伴う賃貸業では盛業期を迎えるものの、コロナの影響もあり業況は現状維持の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・新常態を取り入れ、取引先深耕を図る。
- ・所有者不明土地に関する法改正で、物件に動きが出るか期待している。
- ・ブランチオフィス・テレワーク増加に伴い、市外からテナント入居の問合せが増加している。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 57.1%	売上の停滞・減少 57.1%
第2位	同業者間の競争の激化 42.9%	同業者間の競争の激化 42.9%
第3位	商品物件の縮小利幅の縮小 28.6%	商品物件の縮小利幅の縮小 28.6%

(複数回答)

当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	宣伝・広告を強化する 57.1%	経費を節減する 71.4%
第2位	情報力を強化する 42.9%	販路を広げる 42.9%
第3位	販路を広げる 28.6%	情報力を強化する 宣伝・広告を強化する 28.6%

(複数回答)



運輸業



概況

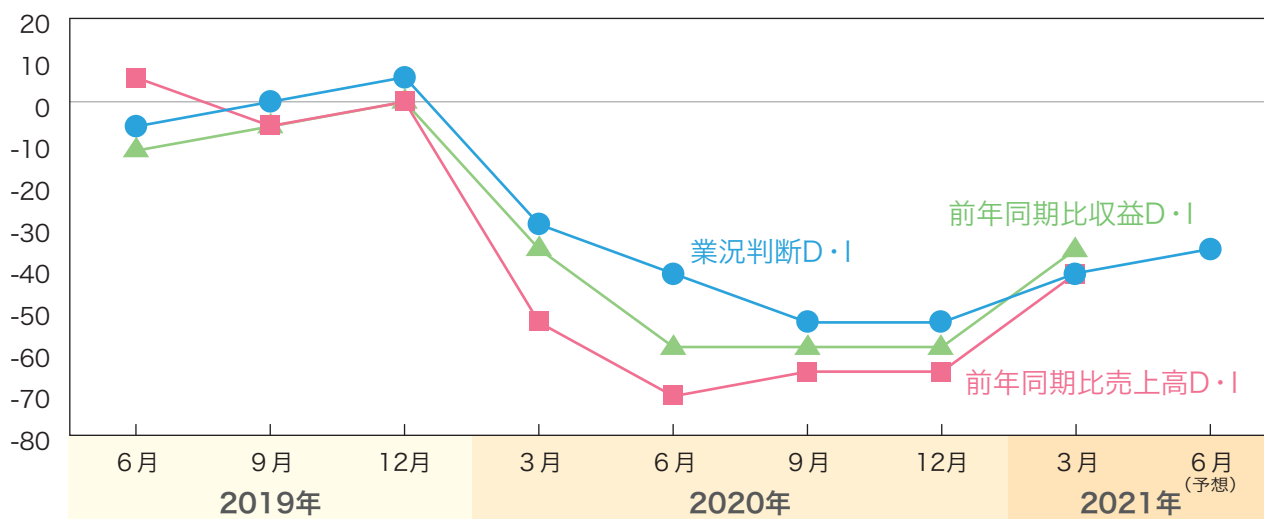
今期の業況判断指数（D・I値）は、△41.1と前期（10月～12月）に比べ11.8ポイント改善しましたが、低調な業況となりました。旅客運送業では外出自粛の影響で全事業先が悪化しました。貨物自動車・通運業では除排雪需要によりやや改善されましたが、厳しい状態が継続しています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△29.4	△52.9	△41.1	△35.3
売上高D・I	△52.9	△64.7	△41.1	—
収益D・I	△35.3	△58.8	△35.3	—

来期の見通しについて

旅客運送業は引続き全調査先が悪化の見通しで、貨物自動車・通運業では引越需要でやや改善の見込みですが、燃料費の高騰も加わり、回復は停滞の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・外出自粛が続き、厳しい状況が続く。
- ・最近、更に燃料価格が高騰してきているのが1つの問題点である。
- ・除排雪需要増による人員確保（季節的雇用）の必要性がある。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	64.7%	燃料価格の上昇	64.7%
第2位	燃料価格の上昇	52.9%	人手不足	58.8%
第3位	同業者間の競争の激化	41.2%	売上の停滞・減少	41.2%

(複数回答)

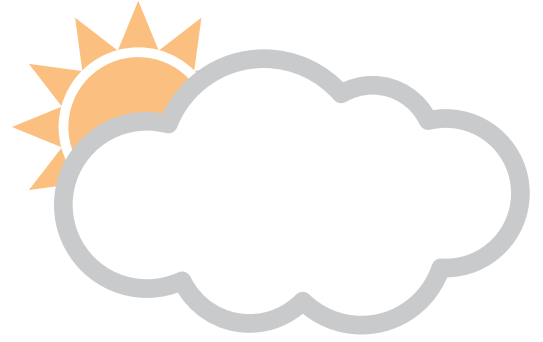
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	64.7%	経費を節減する	82.4%
第2位	販路を広げる 労働条件を改善する	35.3%	販路を広げる	41.2%
第3位	教育訓練を強化する その他	11.8%	労働条件を改善する	29.4%

(複数回答)



農業

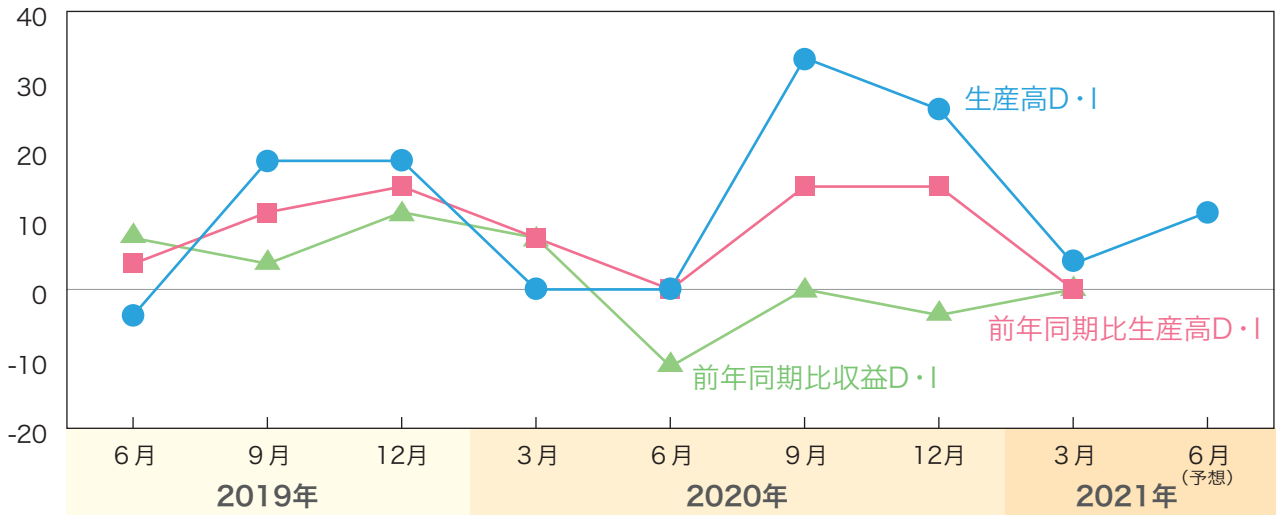


概況

生産高D・I値は3.7ポイント、前期比△22.2ポイント悪化しました。今冬、岩見沢市周辺の2mを超える積雪により、水稻・玉ねぎのハウス被害は発生しましたが、過去の経験から最小限に抑えられた模様です。また、雪解けの遅れから、定植作業は例年より遅れております。米農家では今年度産米で米価の下落防止のため、需給均衡に向けて麦・大豆等への転作面積拡大への生産調整が進められる見込みとなっておりますが、コロナ禍による減収となった玉ねぎ・花卉等の生産農家には、支援対策が講じられました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	0.0	25.9	3.7	11.1
前年同期比生産高D・I	7.4	14.8	0.0	-
収益D・I	7.4	△3.7	0.0	-

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・ふるさと納税は堅調だが、一般小売用の作物価格が低迷している。
- ・価格が下がる傾向にあり、また近年の天候不順の影響もあり、今年は春先早めに動いていく。
- ・豪雪に伴う対応(融雪)等、費用増加の懸念がある。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 48.1%	人手不足 51.9%
第2位	生産者価格の低迷 機械・設備の老朽化 29.6%	生産者価格の低迷 37.0%
第3位	品質競争の激化 25.9%	品質競争の激化 機械・設備の老朽化 機械・設備の値上がり 25.9%

(複数回答)

特別調査

新型コロナ感染拡大長期化の影響と 新常態(ニューノーマル)への対応について

当金庫が今回実施致しました第139回中小企業景気動向調査と併せて(運輸業と農業を除く)172先について「新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常態(ニューノーマル)への対応について」をアンケート調査した結果です。

問1. 貴社における今期(1~3月)の売上は、新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1~3月と比較して、どの程度変化しましたか。次の1~8の中からお答えください。

- | | | |
|-----------------|--------------------|-----------------|
| 1 90%以上の減少 | 4 30%以上50%未満の減少 | 7 10%以上30%未満の増加 |
| 2 70%以上90%未満の減少 | 5 10%以上30%未満の減少 | 8 30%以上の増加 |
| 3 50%以上70%未満の減少 | 6 ほぼ変化なし(10%未満の増減) | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 90%以上の減少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 70%以上90%未満の減少	8.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
3 50%以上70%未満の減少	0.0%	0.0%	1.8%	13.3%	2.3%	0.0%	3.5%
4 30%以上50%未満の減少	17.4%	7.1%	16.4%	10.0%	0.0%	0.0%	9.9%
5 10%以上30%未満の減少	52.2%	28.6%	43.6%	36.7%	23.3%	14.3%	36.0%
6 ほぼ変化なし(10%未満の増減)	17.4%	42.9%	38.2%	33.3%	53.5%	85.7%	40.7%
7 10%以上30%未満の増加	4.3%	7.1%	0.0%	6.7%	18.6%	0.0%	7.0%
8 30%以上の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%

新型コロナ感染拡大により、前年同期比では「ほぼ変化なし」が40.7%と最も多く、コロナの影響が比較的少ない不動産業、建設業ではそれぞれ85.7%、53.5%となっています。全体で、「ほぼ変化なし」と「10%以上30%未満の減少」を含めると76.7%となり、業績の停滞がうかがわれます。特に、製造業・卸売業では「70%以上90%未満の減少」が各々8.7%、14.3%となり、経営環境の厳しさを反映した回答結果となりましたが、一方で、建設業では「10%以上30%未満の増加」と「30%以上の増加」を含めると20.9%となり、業種間で好不況が分かれました。

問2. 経済社会全体が新常態(ニューノーマル)へ移行していくなかで、貴社では、事業継続上の不安、心配、懸念はありますか。1~9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、不安、心配、懸念のない方は0とお答えください。

- | | | |
|-----------------------|-----------------|---------------|
| 1 先行き不透明による計画策定困難化 | 5 雇用の確保、維持、継続 | 9 その他() |
| 2 既存事業の需要減少 | 6 感染拡大防止対策の負担増大 | 0 不安、心配、懸念はない |
| 3 取引先の経営不安定化 | 7 事業構造転換の必要性増大 | |
| 4 デジタル化、オンライン化への対応の遅れ | 8 事業承継問題への悪影響 | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 先行き不透明による計画策定困難化	18.4%	25.0%	16.9%	18.2%	23.7%	35.7%	20.5%
2 既存事業の需要減少	18.4%	10.0%	20.5%	13.6%	22.0%	21.4%	18.6%
3 取引先の経営不安定化	15.8%	20.0%	10.8%	11.4%	11.9%	21.4%	13.2%
4 デジタル化、オンライン化への対応の遅れ	5.3%	10.0%	4.8%	6.8%	1.7%	7.1%	5.0%
5 雇用の確保、維持、継続	21.1%	0.0%	12.0%	20.5%	6.8%	0.0%	12.0%
6 感染拡大防止対策の負担増大	7.9%	10.0%	18.1%	13.6%	13.6%	0.0%	13.2%
7 事業構造転換の必要性増大	2.6%	5.0%	2.4%	0.0%	1.7%	0.0%	1.9%
8 事業承継問題への悪影響	2.6%	0.0%	3.6%	4.5%	3.4%	0.0%	3.1%
9 その他()	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 不安、心配、懸念はない	7.9%	20.0%	10.8%	11.4%	15.3%	14.3%	12.4%

経済社会が新常態(ニューノーマル)へ移行していく中で、「不安・心配・懸念はない」と回答した事業先は12.4%に止まりました。項目別では、「先行き不透明による計画策定困難化」20.5%、「既存事業の需要減少」18.6%、「取引先の経営不安定化」及び「感染拡大防止対策の負担増大」が各々13.2%の順となり、上位4項目で65.5%となっております。事業先の多くは何らかの不安を抱えているという回答結果となりました。

製造業およびサービス業では、「雇用の確保、維持、継続」が第1位となっており、人材不足は経営上の問題点となっています。

問3. 新常態(ニューノーマル)へ向けて、IT人材の重要性が高まる状況にあります。貴社のIT人材はどのような状況ですか。また、貴社でのIT活用はどのような効果を挙げていますか。最もあてはまるものを、それぞれ1~5、6~0の中から1つずつ選んでお答えください。

IT人材の状況

- 1 足りている
- 2 足りていない(内部育成で対応)
- 3 足りていない(外部人材採用で対応)
- 4 足りていない(外部業者に委託で対応)
- 5 IT人材の必要性を感じていない

IT活用の効果

- 6 売上の上昇
- 7 効率化による経費削減
- 8 顧客利便性の向上
- 9 IT活用に取り組んだが効果が出ていない
- 0 IT活用には取り組んでいない

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
IT人材の状況							
1 足りている	8.7%	7.1%	7.3%	10.0%	4.5%	14.3%	7.5%
2 足りていない(内部育成で対応)	30.4%	7.1%	21.8%	13.3%	11.4%	14.3%	17.3%
3 足りていない(外部人材採用で対応)	0.0%	7.1%	3.6%	3.3%	2.3%	0.0%	2.9%
4 足りていない(外部業者に委託で対応)	0.0%	0.0%	5.5%	3.3%	2.3%	14.3%	3.5%
5 IT人材の必要性を感じていない	60.9%	78.6%	61.8%	70.0%	79.5%	57.1%	68.8%
小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
IT活用の効果							
6 売上の上昇	0.0%	0.0%	1.8%	3.3%	0.0%	14.3%	1.8%
7 効率化による経費削減	21.7%	7.1%	23.6%	20.0%	16.7%	28.6%	19.9%
8 顧客利便性の向上	4.3%	14.3%	10.9%	6.7%	7.1%	14.3%	8.8%
9 IT活用に取り組んだが効果が出ていない	8.7%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
0 IT活用には取り組んでいない	65.2%	78.6%	61.8%	70.0%	76.2%	42.9%	67.8%
小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

IT人材の状況

「IT人材の必要性を感じていない」と回答した事業先が68.8%と最も多く、「人材が足りている」との回答は7.5%に止まりました。コロナ禍で、先行き不透明による設備投資環境の厳しさおよび人材不足が背景と思われます。

IT活用の効果

「IT活用には取り組んでいない」と回答した事業先が67.8%と最も多く、前問の「IT人材の必要性を感じていない」とした回答と横並びの結果となりました。一方、「効率化による経費削減」の実績を上げる事業先が19.9%にのぼり、IT化による効率化への取り組みは浸透しつつある状況です。

問4. 貴社では、新常态（ニューノーマル）へ向けて、どのような設備投資の意向がありますか。また、足下のコロナ禍は設備投資のスケジュールに影響を及ぼしていますか。最もあてはまるものを、それぞれ1～5、6～0の中から1つずつ選んでお答えください。

		設備投資の意向		スケジュールへの影響				
		1 新製品・新サービス進出対応		6 当初予定通り実施				
		2 老朽化設備等の更新		7 計画を後ろ倒しして実施				
		3 生産・販売能力増強		8 当初予定はなかったが補助金等の活用により実施				
		4 合理化・省力化・IT化		9 予定はあったが、中止・凍結した				
		5 設備投資の意向はない		0 当初から予定はなく、設備投資はしない				
設備投資の意向		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
	1 新製品・新サービス進出対応	4.3%	0.0%	1.8%	3.3%	0.0%	0.0%	1.7%
	2 老朽化設備等の更新	26.1%	7.1%	12.7%	30.0%	23.3%	33.4%	20.3%
	3 生産・販売能力増強	8.7%	21.4%	9.1%	3.3%	0.0%	0.0%	6.4%
	4 合理化・省力化・IT化	8.7%	14.3%	9.1%	3.3%	4.7%	0.0%	7.0%
	5 設備投資の意向はない	52.2%	57.1%	67.3%	60.0%	72.1%	71.4%	64.5%
	小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
スケジュールへの影響		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
	6 当初予定通り実施	13.0%	14.3%	14.5%	13.3%	14.0%	14.3%	14.0%
	7 計画を後ろ倒しして実施	17.4%	7.1%	3.6%	16.7%	0.0%	0.0%	7.0%
	8 当初予定はなかったが補助金等の活用により実施	8.7%	7.1%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
	9 予定はあったが、中止・凍結した	4.3%	0.0%	1.8%	6.7%	2.3%	14.3%	3.5%
	0 当初から予定はなく、設備投資はしない	56.5%	71.4%	76.4%	63.3%	83.7%	71.4%	72.7%
	小計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

設備投資の意向

「設備投資の意向はない」と回答した事業先が64.5%と最も多くなり、次に「老朽化設備等の更新」が20.3%と続いております。卸売業では「生産・販売能力増強」とする回答が21.4%の第2位となる等、項目により業種間でバラつきが見られました。

スケジュールへの影響

「当初から予定はなく、設備投資はしない」と回答した事業先が72.7%と最も多くなりました。「予定はあったが、中止・凍結した」事業先は3.5%に止まりましたが、不動産業では14.3%となっております。実施した事業先（予定通り、計画の後倒し、補助金の活用）の合計は23.9%にのぼっています。

問5. 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。該当するものを以下の1～9より最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等） | 6 本業の縮小 |
| 2 本業での新商品・サービスの展開 | 7 副業（既存の別事業）の縮小 |
| 3 本業の海外展開（生産・販売・調達等） | 8 業種転換 |
| 4 副業（既存の別事業）の拡大 | 9 M&Aの活用等 |
| 5 新規事業への参入（多角化） | 0 特にない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等）	44.8%	42.1%	27.4%	37.1%	31.1%	33.3%	34.2%
2 本業での新商品・サービスの展開	17.2%	21.1%	19.4%	17.1%	4.4%	0.0%	14.6%
3 本業の海外展開（生産・販売・調達等）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4 副業（既存の別事業）の拡大	3.4%	0.0%	4.8%	2.9%	2.2%	11.1%	3.5%
5 新規事業への参入（多角化）	3.4%	0.0%	0.0%	2.9%	2.2%	11.1%	2.0%
6 本業の縮小	0.0%	0.0%	6.5%	2.9%	2.2%	0.0%	3.0%
7 副業（既存の別事業）の縮小	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8 業種転換	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
9 M&Aの活用等	3.4%	10.5%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.0%
0 特にない	24.1%	26.3%	41.9%	37.1%	55.6%	44.4%	40.2%

（複数回答）

「特にない」と回答した事業先が40.2%と最も多くなり、業界の見通しが付き難い状況に対策面でも苦慮していると思われます。「本業の国内取引先深耕」および「本業での新商品サービスの展開」と回答した事業先が48.8%を占め、原点回帰に徹して自社の強みや新規先の創出へ経営上の力点を置き模索する動きが回答結果から見えてきます。

主要経済指標

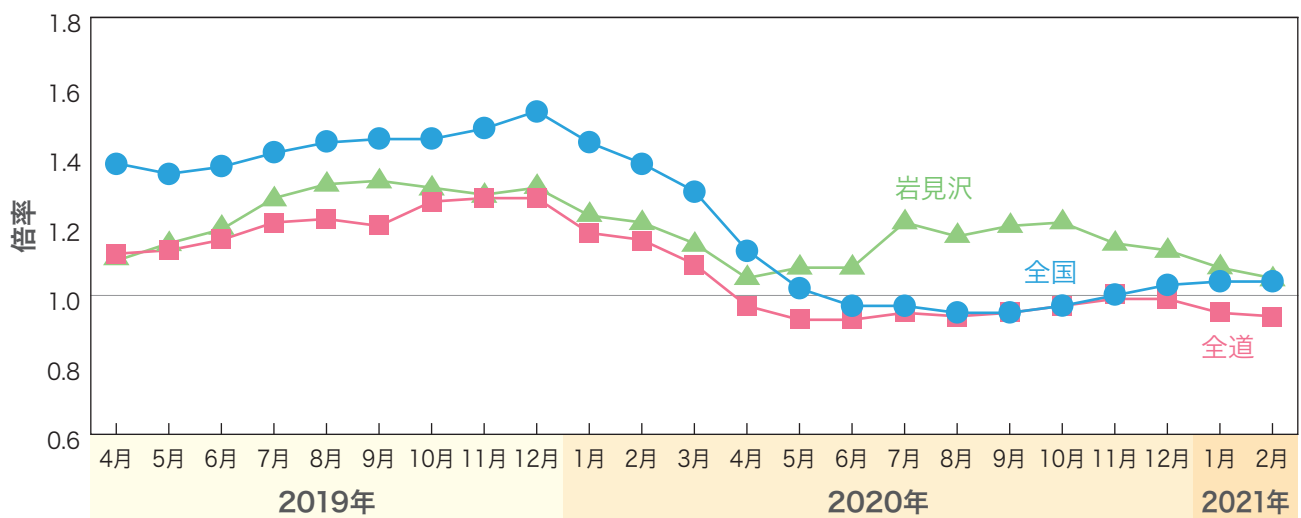
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2020年											2021年	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
岩見沢市	79,814	79,850	79,825	79,741	79,750	79,727	79,612	79,557	79,452	79,361	79,262	79,163	
美唄市	20,839	20,797	20,764	20,727	20,706	20,656	20,620	20,578	20,546	20,507	20,449	20,420	
三笠市	8,223	8,250	8,234	8,216	8,206	8,200	8,182	8,168	8,167	8,153	8,131	8,086	
栗山町	11,555	11,571	11,558	11,543	11,522	11,506	11,496	11,482	11,481	11,474	11,454	11,424	
南幌町	7,464	7,469	7,460	7,451	7,448	7,444	7,445	7,450	7,441	7,447	7,436	7,432	
由仁町	5,022	5,015	5,000	4,984	4,978	4,966	4,957	4,947	4,931	4,932	4,926	4,919	
長沼町	10,576	10,543	10,531	10,533	10,548	10,551	10,545	10,552	10,538	10,515	10,501	10,490	
江別市	119,408	119,776	119,778	119,773	119,860	119,824	119,881	119,900	119,855	119,819	119,776	119,682	

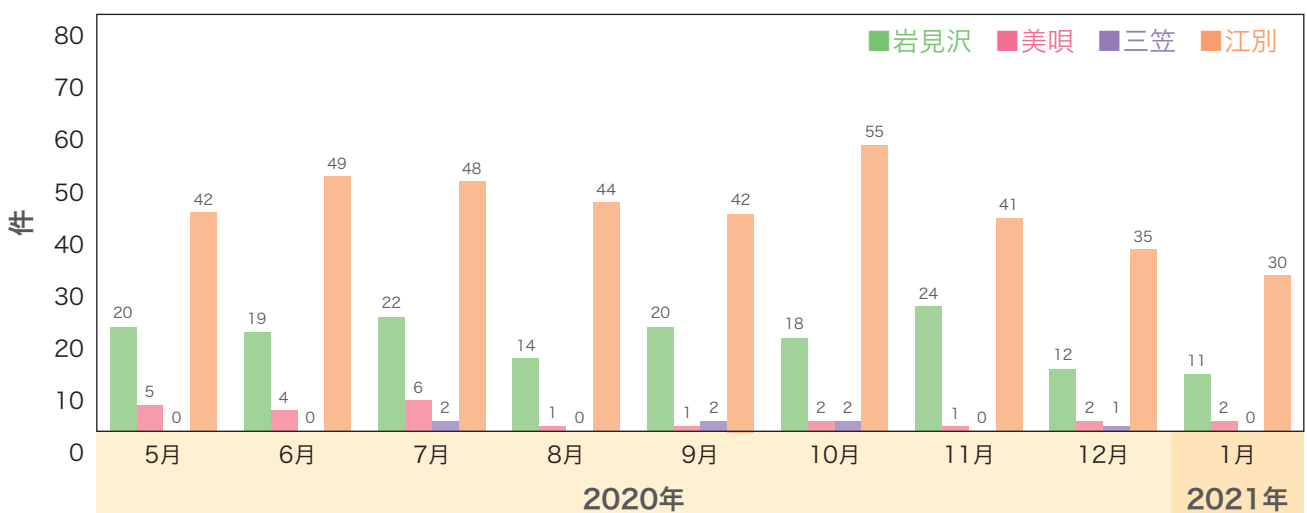
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

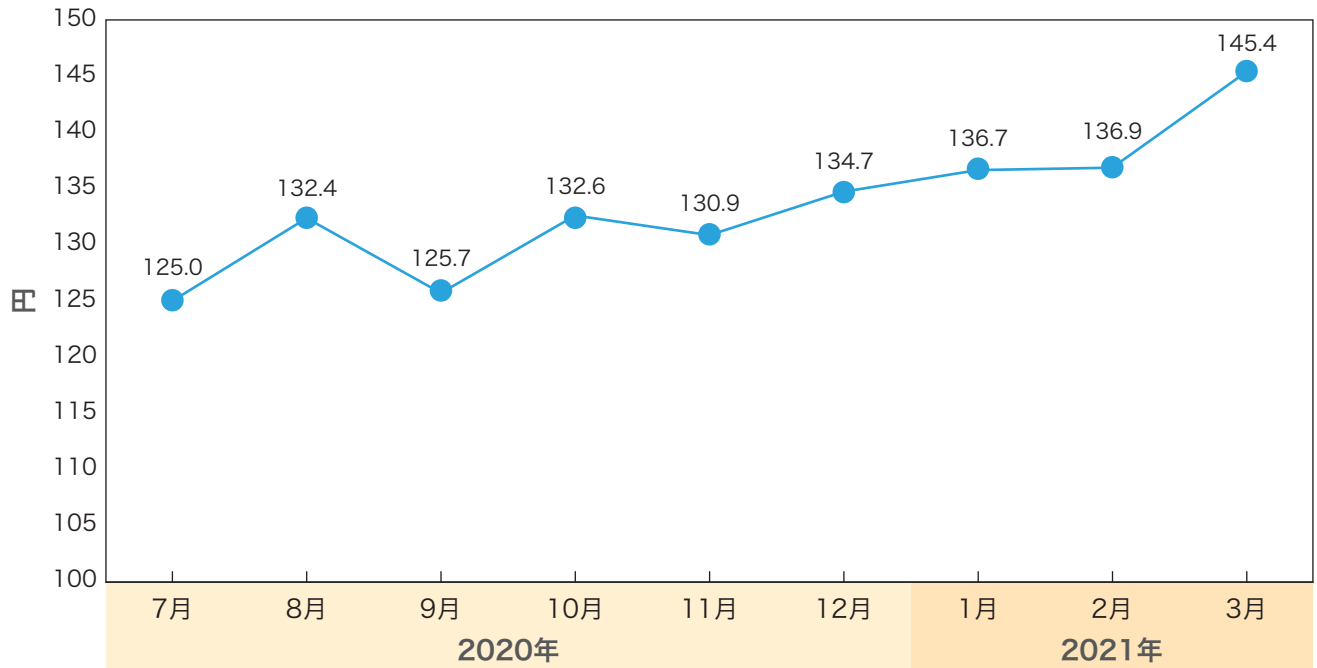


(資料：北海道建設新聞社)

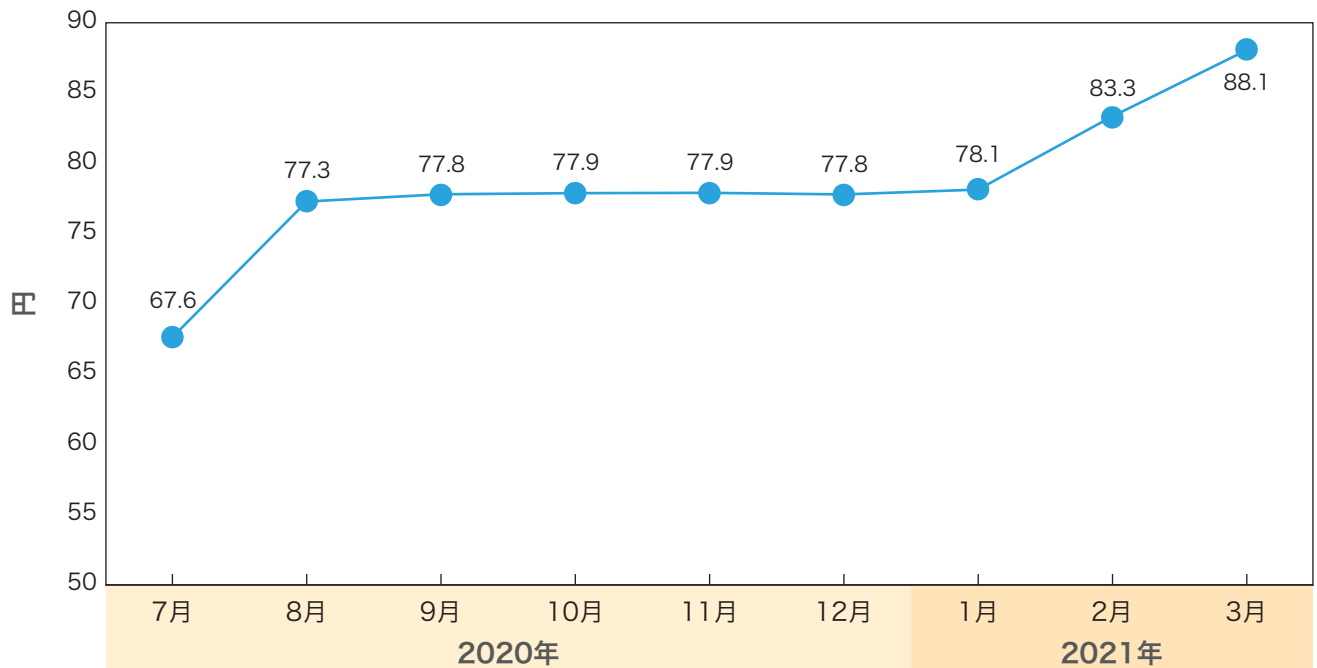
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

5信用金庫のお取引先企業のご紹介コーナー

(有)丸山山義商店「喫茶屋 かしさ」

紹介者：空知信用金庫（担当部：地域支援部 ☎0126-22-1171）

ボリュームたっぷり、味もバツグン、駐車場20台。
新聞5誌や週刊誌25誌、マンガ単行本1600冊あるサラリーマンの憩いの場です。

人気メニューは、日替わりランチやハンバーグステーキ。

自家焙煎コーヒーもファンが多いです。

かしさ特製の「とろみ昆布ポン酢」はかけて食べるもよし、
オイスターソースの様にいろいろな料理の調味料としても使えます。



【主要取扱商品】

北海道とろみ昆布ポン酢

〒065-0031 札幌市東区北31条東1丁目4番6号 山岸ビル
担当者：山岸 義孝 様
Tel 011-752-0008 Fax 011-752-0008

(有)阿部菓子舗

紹介者：北海道信用金庫 札幌圏（担当部：しんきん北海道金融センター ☎011-706-1500）

大正10年に創業し、道の駅夕張メロード内にて菓子製造・販売を手掛けております。夕張メロン生産と炭鉱産業で繁栄をしてきたことから、夕張メロンまんじゅう、夕張メロンカステラ、夕張メロン羊羹及び、石炭まんじゅう、石炭カステラ、たんどら、炭塊糖他、和洋菓子を豊富に取り揃えております。一部商品は夕張市のふるさと納税の返礼品の指定も受けております。夕張市にお越しの際は是非お立ち寄り、ご賞味ください。

〒068-0755 夕張市紅葉山56番地
（店舗は「道の駅」メロード内 夕張市紅葉山529番地9）
担当者：阿部 広昭 様
Tel 0123-58-2021 Fax 0123-58-2033
Hp meron-manjiyu.com



【主要取扱商品】

石炭をイメージし竹炭を練り込んだ「カステラ」や夕張メロン果汁を使用した「まんじゅう」等の他、道内各地の「温泉まんじゅう」の製造を手掛けております。

(株)TAIRIN

紹介者：北海道信用金庫 後志圏（担当部：しんきん北海道金融センター ☎011-706-1500）

株式会社TAIRINは小樽市に社屋を構え、打上花火、産業火薬、抗菌加工工事、土木建築工事、タレント派遣 等、幅広く事業を展開しております。特に打上花火に関しましては、洞爺湖ロングラン花火大会、後志地域主要花火大会を数多くの受注をいただいております。また、プライベートな小規模な花火大会も随時格安にて承りますのでお気軽にお問い合わせください。

〒047-0152 小樽市新光2丁目13-6
担当者：鳴海 正之 様
Tel 0134-26-6822 Fax 0134-26-6844
E-mail tairin@bz03.plala.or.jp



【主要取扱商品】

打上花火・産業火薬・
土木建築工事・タレント派遣

このコーナーは、空知、北海道、室蘭、苫小牧、旭川の各信用金庫のお取引先企業様をご紹介します「誌上ビジネスマッチング」です。是非、皆様の販路拡大やビジネスの連携にお役立て下さい。お問合せは、直接掲載企業様もしくは紹介信用金庫までご連絡下さい。

(有)ハイ・ミート・たなか

紹介者：室蘭信用金庫（担当部：お客様支援部 ☎0143-44-3355）

昭和50年に創業以来、白鳥台ショッピングセンター「ハック」内にて店舗営業しておりましたが、昨年2月に念願でもありました支店を室蘭市八丁平に開店することが叶いました。

主力商品であります熟成豚肉は、北海道産の上級豚肉を10日～14日間程度、一頭ずつ冷蔵庫内で熟成させ旨味が強くなってから除骨を行い、お客様のニーズにお応えしたうえでカットし販売している他、室蘭市のふるさと納税の返戻品としても使って頂いております。

その他、手羽先餃子や自家製ホルモン、味付ジンギスカン等オリジナル商品も多数取り揃えており、肉屋の専門店としてこれからも親切、丁寧な接客に努めて参ります。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

本店：室蘭市白鳥台5丁目1番4号 白鳥台ショッピングセンター「ハック」内

支店：室蘭市八丁平5丁目31番6号

担当者：田中 健太 様

Tel 0143-59-5014 E-mail hi.meat-tanaka@nifty.com



【主要取扱商品】

熟成豚肉、手羽先餃子、
特製ホルモン、味付ジンギスカン

北日本エクスプレス(株)

紹介者：苫小牧信用金庫（担当部：業務推進部 ☎0144-56-5026）

当社では、主に一般貨物自動車運送事業、倉庫業、特別管理産業廃棄物収集運搬業の業務を行っております。

業歴は62年が経過し、乗務員34名、事務職員9名、車輛については、けん引車35台、被けん引車368台にて運営しています。

荷物の大きさや量に応じたトラックで、これまで培ってきた知識や技術を活かし、誠意をもって確実に運送できるよう、常にお客様の立場に立って業務に取り組んでいます。

太平洋フェリーから下船したお客様の大切な荷物を、安全かつ迅速に、全道各地に向けて運送いたします。

〒053-0056 苫小牧市あけぼの町3丁目1-10

担当者：佐藤 瑞輝 様

Tel 0144-55-4811 Fax 0144-55-2830

Hp <https://kitanihonexp.com>

E-mail exp@seagreen.ocn.ne.jp



【主要取扱商品】

一般貨物自動車運送事業・倉庫業
(一般雑貨輸送)

上野ファーム

紹介者：旭川信用金庫（担当部：地域振興部 ☎0166-26-1175）

北国の気候・風土にあう植物でデザインされた、ナチュラルスタイルの「北海道ガーデン」を有料で公開しています。春から秋まで、3000品種以上の花が開花を続けます。施設内には、オリジナルギフトや花苗を扱うショップがあります。

テイクアウトスタイルのカフェも併設されており、ガーデン内でもピクニック気分が飲食が気軽に楽しめます。ガーデンの背景に広がる射的山の山頂からは、美しい旭川の田園風景が一望できます。

〒079-8431 旭川市永山町16丁目186番地

担当者：上野 砂由紀 様

Tel 0166-47-8741

Hp <https://www.uenofarm.net/>

E-mail info@uenofarm.net



【主要取扱商品】

観光庭園、花苗、
オリジナルギフト など

空知信用金庫 SDGs宣言

当金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、当金庫の経営理念である「郷土の繁栄に寄与し、大衆からも職員からも喜ばれ、敬愛と信頼される信用金庫を創る」ため、SDGsを経営計画に反映させ、地域金融機関として地域社会の課題解決を実践し、持続可能な社会の実現に向け、これまで以上に積極的に取り組んでまいります。

令和3年1月1日
空知信用金庫
理事長 熊尾 憲昭

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS








そらちしんきん 個人向けローン

お申込みからご契約まで
来店不要

WEBで完結



 <p>カーライフプラン</p> <p>ご融資利率</p> <p>年 1.15% <small>(※)</small> ~年 2.60%</p> <p>変動金利 (保証料込)</p>	 <p>教育ローン</p> <p>ご融資利率</p> <p>年 0.85% <small>(※)</small> ~年 2.30%</p> <p>変動金利 (保証料込)</p>	 <p>個人ローン</p> <p>ご融資利率</p> <p>年 3.10% <small>(※)</small> ~年 4.30%</p> <p>変動金利 (保証料込)</p>	 <p>フリープラン</p> <p>ご融資利率</p> <p>年 3.00% ~年 11.00%</p> <p>固定金利 (保証料込)</p>	 <p>カードローン</p> <p>ご融資利率</p> <p>年 11.00%</p> <p>固定金利 (保証料込)</p>
---	--	--	--	---

詳しくは、空知信用金庫本支店窓口までお問い合わせまたはホームページをご覧ください。 (※) 下限金利の適用には一定の条件があります。

令和3年4月現在

住宅ローン 特別金利

令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
※募集総額が40億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象
充実した保障が **全国信保険料**
すべて **なし** **0円**
金利上乗せ **なし**
※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

ご返済期間は**最長40年** ※保証会社の判断により短縮する場合があります。

変動金利型 新規受付利率

0.65%~0.75% (※)

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年**
0.80%~0.90% (※)

(※) 下限金利の適用には一定の条件があります。別途、保証料がかかります。

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご返済まで店頭基準金利から **年1.50%優遇いたします**

スマホで簡単申込み WEBで住宅ローン

事前審査お申込みが **2ステップ** で簡単に!!

ステップ1 空知信用金庫の
ホームページにアクセス

そらち信金で検索

事前審査お申込み **365日・24時間対応**

スマホの方は
こちらから



ステップ2 サイト内の住宅ローン受付に
必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄
に必要事項をご入力いただき、事前審査お申込み完了!!
事前審査結果は後日お知らせいたします。

※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ

事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

対象者 / 返済時年齢満80歳以下の方。
団体信用生命保険にご加入できない場合は、0.30%をご融資利率に上乗せします。

ご融資金額 / 1億円以内

ご融資期間 / 40年以内

担保 / ご融資物件に抵当権を設定します。

保証 / (一社)しんきん保証基金または全国保証㈱の保証。

保証料 / 保証会社の保証料についてはお借入時一括または保証会社が定める保証料率をご融資利率に上乗せした毎月払とします。(一括払いの例) ご融資金額100万円、お借入期間25年の場合、7,891円~152,188円(毎月払いの例) 保証料率年0.07%~0.40%

手数料 / お借入時年齢が(50歳未満の場合)保証付住宅ローン事務取扱手数料(お借入金額に応じて)55,000円~220,000円(税込)、(50歳以上の場合)不動産担保事務取扱手数料49,500円(税込)(年齢に関わらず)全国保証㈱の保証で保証料一括払の場合は取扱手数料55,000円(税込)。
また、繰上返済や返済条件変更の場合は当金庫所定の手数料がかかります。

※ご返済額の試算につきましては店頭へお問い合わせください。

※店頭にて説明書をご用意しております。詳しくは窓口までお問い合わせください。

※固定金利特約期間満了後は、「キャップ(上限利率)付変動金利型」となりますが、ご希望により再度「固定金利期間選択型」を選択することができます。なお、固定金利選択期間中は、「変動金利型」や「全期間固定金利型」、あるいは他の固定金利特約期間への変更はできません。

※「変動金利型」から「固定金利型」、「固定金利期間選択型」に変更する際は条件変更手数料11,000円(税込)がかかります。また「全期間固定金利型」からは「変動金利型」あるいは「固定金利期間選択型」への変更はできません。

※当初お借入金利は、お申込時点の金利が適用されます。また、金利情勢の変化により、受付期間中に金利を見直しすることもございます。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



